

檀信徒・霊園使用者各位に発行しています。

## 本年も師走になりました

早い物で本年も師走、年末になりました。あわせて寺報第二号をお送りいたします。平安時代の「色葉字類抄」という書物に年末に坊さんがお経を読んで回るさまを「師、馳す」と言うと出てきます。これが「しわす」の語源の主な説となっているようです。たしかに 12 月は成道会（お釈迦様が悟りを開かれた日）にはじまり臘八大接心（修行僧の不眠不休の荒行）すすはらい、納め観音に除夜の鐘と、行事の目白押し。思わず走り回りたくなっちゃいますね。また 12 月 11 日には八王子市の臨済宗南禅寺派各寺院によって東日本大震災復興支援托鉢が行われました。復興には息の長い支援策が必須です。そういう思いから托鉢行を続け、復興の一助となればと思っています。

久しぶりにわらじを履き脚絆網代で歩くと、夏は暑く冬は寒い、そういう当たり前の事が肌身に沁みます。これから先もずっとあの震災の悲惨さ、悲しみに心を添わせ続けていかなければならない。教義や理屈を超え、当たり前の「人情」としてそうあらねばならないと思います。

宝泉寺一同、年末年始に限らず一年中、懸命に走り回ってがんばります。どうぞよろしく願いいたします。



先月 11 月 3 日文化の日。毎年恒例の「お施餓鬼会」が無事に行われました。晴天に恵まれ、沢山の方に参拝して頂きました。ありがとうございました。3月のお彼岸会、7月のお盆会と、11月のお施餓鬼会。宝泉寺の年中行事として毎年行っています。今年残念ながらおいでになれなかった方も、お子さんやお孫さん、お友達を誘って来年は是非お参りくださいね。お待ちしております。全席いす席ですよ。ご安心を。



# 法話



## 禅宗の始まり、達磨大師と慧能禅師のお話

当山 宝泉寺の正式名称は「臨済宗南禅寺派薬王山宝泉禅寺」といいます。臨済宗という宗派の南禅寺の法燈の流れにある宝泉寺という禅寺。ということです。

南禅寺というのは京都東山にある大本山です。私も修業時代はここで過ごしました。今でも訪れると気分がシャッキとします。臨済宗というのは、釈尊の教えを「禅」というキーワードで体得していこうという、所謂「禅宗」の一つです。ほかには曹洞宗、黄檗宗が日本に伝わっています。今回は、禅宗がどのように発展して、現代に至っているかというお話です。

お釈迦様は修行の旅の最後、菩提樹の下に座って 8 日間の座禅瞑想の後、12 月 8 日の朝、明けの明星の輝きをご覧になって、はたとお悟りを開かれました。悟りとは「物事の有り様を正しく捉えること」です。ちなみにこの故事に倣って、現在でも修行道場では、12 月 1 日から一週間、不眠不休で座禅をします。文字どおり、寝ないで一週間座禅しっぱなし。臘八大接心と呼ばれる荒行です。あけた 8 日は「成道会」。お釈迦様が悟りを開かれた記念日です。禅宗ではこの座禅を修行の中心とし、心を正しくするための大事な手段とします。お釈迦様から数えて第 28 代目の継承者に「達磨大師」という方がいらっしゃいます。みなさんおなじみの「ダルマさん」です。この方が実は禅の初祖、お釈迦様の教えを「禅」というキーワードで大成したかたなのです。貴族として生まれながらも仏道修行を志し、インドでは比類なき禅者として知られていました。紀元 6 世紀頃、梁の武帝に請わ

平成二十四年度年回表  
〓〓法事の参考にしてください

一周忌	平成二十三年没
三回忌	平成二十二年没
七回忌	平成十八年没
十三回忌	平成十二年没
十七回忌	平成八年没
二十三回忌	平成二年没
二十七回忌	昭和六十年没
三十三回忌	昭和五十五年没
五十回忌	昭和三十一年没
百回忌	大正二年没

→します。慧能禅師の禅の境地は「本来無一物」という言葉のなかに見て取れます。たとえば私たちは生まれ落ちたとき、何も持たずに生まれてきます。しかし成長するに従って、「好き嫌い」から始まって「美しい醜い」「善と悪」のような様々な判断基準を持つようになります。そうして何時の間にか「自分の判断基準」を優先過信するあまり、今度は自分の基準に

初祖達磨大師の「禅」は第二祖慧可から第六祖慧能禅師まで伝わりここで爆発的に発展



合わない物は、いかにもくだらない物のように思えてしまう。即ち自分こそが正しく他は間違っているという考え方に陥ってしまうわけです。世界中でおきている様々な紛争の原因の一つは、「我が国こそ正しい」という自分の基準を他人に押しつけようとするからだ、そんな風になれるのかもしれませんが。身近に考えても、思えばずいぶん自分勝手な「俺が正しい（はず）」とか「あいつは間違っている（はず）」という思いが、様々な日常のトラブルや心の悩みを増やしている気がします。それなら、自分勝手な「判断基準」などやめてしまえばいい。慧能禅師は、そんなもの捨て去ってしまえば、後には自分本来の清らかな心があるだけだ。とっています。生まれたての赤ん坊のような、どんな考え方にも固執しない、好き嫌いにこだわらない、そういう心を獲得できれば、たちどころに悩みむことも苦しむことも無くなっていく。何にもとらわれない、自由ですがすがしい心をつくる、これが「臨済宗」が目指す、「禅の生き方」なのです。

宝泉寺ではこの教えに基づいて、皆様と共に、おおいなる心の繁栄を目指していきたいと思っています。

コラム

## 「お葬式にまつわるお話」

近年、お葬式や仏事に関する環境は大きく変わってきている、という声をよく聞きます。このコーナーでは、普段なかなか触れることのできないお葬式の中身や、率直な「お寺の声」もお届けしていこうと思います。

近年とくに注目されているのが、所謂「格安葬儀」。インターネットで検索すると沢山ヒットします。どうしてこんなに安価にできるんだろう？不思議に思ってちょっと調べてみました。全部が全部ではないんですが、驚いたことに多くの「ネット格安葬儀社」は、店舗を持っていないそうです。所在地には机と電話だけ。電話を受けるとそのまま下請け業者に引き渡してお仕舞いという、所謂ブローカー的なところも。モチロン「まかせて安心！」とか「信頼の施行」などという宣伝文句とはほど遠い仕事内容です。さらに、棺や骨壺の「グレードアップ」や「ドライアイス交換料」などと称して見積もり以上の金額がかかることがほとんどで、実際彼らは、そこで利益を出すわけですから、そういうところは実に巧妙です。私が遭遇した都内のネット葬儀社のケースでは、実際に現場に来るのは派遣社員や花屋さんなどの下請け業者だけでした。お位牌やご遺体の扱いもぞんざいで、儀式進行も素人同然。とてもきちんとした葬儀なんかできません。支払時には見積もりになかった項目まで足されていて、結局高額な料金を請求され、全く後悔した、ということになってしまいました。怒るやら呆れるやら。

お葬式は、大変重要な「儀式」です。故人にとっては人生を終え、仏様になっていくその厳粛な時間、そして、遺族にとっては悲しい別れに対する心構えを作り、亡き人から受け継いだ「み命」を、次代へ継承していくことを誓う、なくてはならない大事な時間です。もちろん僧侶としてその瞬間は、たとえ簡素であっても厳粛で、そしてあたたかいひとときであってほしいと願っています。

その「手伝い」をするのが葬儀屋さんという仕事だと思うのですが、この不況に乗ってか、葬儀の意味やその場の雰囲気などお構いなしで、自分たちに都合のいいように葬儀をしてしまう業者が多いのが、残念です。「葬儀屋の葬儀屋による葬儀屋のための葬儀」。僕にはとても許せません。

当山の葬祭場、宝泉寺別院には様々な業者さんが出入りをしていますが、ココならきちんとした葬儀が行える、という業者さんとは長年にわたる交流があります。提携しているということではありませんが、「お寺の葬儀のお手伝い」はできればしっかりした人に任せたいとも思います。

もしもの時にはどうか、ネットや病院の紹介に頼らず、まず私ども、お寺の人間に問い合わせてください。どんなに急で慌てた状況であっても何をどうするべきか、きちんとお教えいたしますし、必要に応じて業者さんも手配します。安心してきちんとしたお葬儀が執り行えるように、どうか覚えておいて頂きたいと思います。お葬式は一回しかできません。また後からできるわけでもありません。皆さんと共に「希望に添った後悔しないお別れ」ができるように、お寺も様々な準備をしています。もしもの時はぜひ頼ってほしいとおもっています。

## {う} あいうえお用語辞典

有頂天 (うちょうてん)



喜び過ぎて上の空。元々は我々の住む迷いの世界を九つに分けた世界のこと、その中でも最も悟りに近い世界のこと。

ただ「近い」だけで「悟り」には至っていない！うっかり有頂天でいると、「九天（急転）直下」！最も墮落した世界へと真逆さま。喜びすぎるのもイケマセンってことですね。

## 編集後記

- ・表面に来年の「年忌表」を掲載いたしました。ご自宅のお位牌の没年をご確認ください。
- ・年忌に当たっている仏様にはいつもより篤くご供養いたしましょう。もちろんご法事も。
- ・ご意見ご質問など、当山ホームページ、メールでも受付ています。ご利用ください。

宝泉寺 042 (661) 3353

ホームページ <http://www.housenji.net/>

E-mail [info@housenji.net/](mailto:info@housenji.net/)

## 霊園管理事務所から 霊園だより

師走も深まり、何かと忙しい季節ですが皆様いかがお過ごしでしょうか。

年末年始とも、霊園管理事務所には私どもが待機しておりますので、墓参の際、どうぞお立ち寄り頂き、一休みしてください。また、墓石工事はもちろん、花立て線香立ての修理など気になることがありましたら、お気軽にお申し付けください。お見積もりだけでも致します。

八王子南霊園 管理事務所 畑山